

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 25 日 (2021.2.25)

【公表番号】特表 2020-528962 (P2020-528962A)

【公表日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2020-040

【出願番号】特願 2020-514207 (P2020-514207)

【国際特許分類】

C 0 8 F 4/658 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 4/658

C 0 8 F 10/00 5 1 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 15 日 (2021.1.15)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

塩化マグネシウム系担持体上の Ti 化合物及び任意選択的に電子供与体を含む、 $\text{CH}_2 = \text{CHR}$  オレフィン（ここで、R は、水素または 1 ~ 12 個の炭素原子を有するヒドロカルビルラジカルである）の（共）重合用固体触媒成分の製造方法であって、前記方法は、化学式  $(\text{MgCl}_m \text{X}_{2-m}) \cdot n \text{LB}$ （ここで、m は、0 ~ 2 の範囲であり、n は、0 ~ 6 の範囲であり、X は、独立的にハロゲン、 $\text{R}^1$ 、 $\text{OR}^1$ 、 $-\text{OCOR}^1$  または  $\text{O}-\text{C}(\text{O})-\text{OR}^1$  基であり、 $\text{R}^1$  は、 $\text{C}_1 - \text{C}_{20}$  炭化水素基であり、LB は、ルイス塩基である）の Mg 系化合物を、少なくとも Ti - Cl 結合を有する Ti 化合物を Ti / Mg モル比が 3 を超過する量で含む液体媒体と反応させる、0 ~ 150 範囲の温度で実行される 1 つ以上のステップ（a）；及び前記ステップ（a）から生成される固体生成物を 10 ~ 100 範囲の温度で炭化水素を含む液体媒体中に懸濁させる少なくとも 1 つのステップ（b）を含み、前記方法は、前記ステップ（a）及び / または（b）中の少なくとも 1 つのステップが、Mg 化合物の量に対して 0.2 ~ 20.0 重量%の固体化合物の粒子の存在下で実行されること、及び前記固体化合物が 50 重量%超過の  $\text{SiO}_2$  単位を含みそして 1 ~ 100  $\mu\text{m}$  範囲の平均粒径を有することを特徴とする、方法。

【請求項 2】

50 重量%超過の  $\text{SiO}_2$  単位を含む前記固体化合物が 1 ~ 30  $\mu\text{m}$  範囲の平均粒径を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

50 重量%超過の  $\text{SiO}_2$  単位を含む前記固体化合物がシリカ、ケイ酸塩及び珪藻土から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

50 重量%超過の  $\text{SiO}_2$  単位を含む前記固体化合物がタルクである、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

50 重量%超過の  $\text{SiO}_2$  単位を含む前記固体化合物の量がステップ（a）で使用され

る Mg 化合物の量に対し、0.5 ~ 10 重量%の範囲である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

50 重量%超過の SiO<sub>2</sub> 単位を含む前記固体化合物がステップ (a) で存在する、請求項 1 に記載の方法。

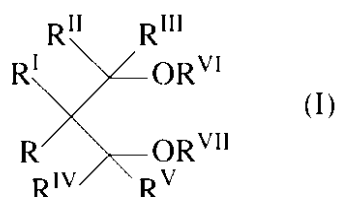
【請求項 7】

50 重量%超過の SiO<sub>2</sub> 単位を含む前記固体化合物がステップ (b) で添加される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ステップ (a) で、任意選択的に置換された芳香族ポリカルボン酸のアルキル及びアリールエステル、マロン酸のエステル、グルタル酸のエステル、マレイン酸のエステル、コハク酸のエステル；ジカルバメート、モノエステルモノカルバメート及びモノエステルモノカーボネートから選択されるジオール誘導体；及び下記化学式 (I) の 1, 3 - ジエーテルからなる群より選択される電子供与体化合物を使用することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法：

【化 1】



(前記式において、R、R<sup>I</sup>、R<sup>II</sup>、R<sup>III</sup>、R<sup>IV</sup>及びR<sup>V</sup>は、互いに同一であるかまたは異なり、水素または1 ~ 18個の炭素原子を有する炭化水素ラジカルであり；R<sup>VI</sup>及びR<sup>VII</sup>は、互いに同一であるかまたは異なり、R<sup>VI</sup>及びR<sup>VII</sup>が水素であってはならないということを除いては、R ~ R<sup>V</sup>と同一の意味を有し；R ~ R<sup>VII</sup>基中の1つ以上は結合されてサイクルを形成することができる)。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

したがって、本開示の目的は、塩化マグネシウム系担持体上の Ti 化合物及び任意選択的に電子供与体を含む、CH<sub>2</sub>=CHR オレフィン（ここで、R は、水素または1 ~ 12個の炭素原子を有するヒドロカルビルラジカルである）の（共）重合用固体触媒成分の製造方法であって、上記方法は、化学式 (MgCl<sub>m</sub>X<sub>2-m</sub>)・nLB（ここで、m は、0 ~ 2 の範囲であり、n は、0 ~ 6 の範囲であり、X は、独立的にハロゲン、R<sup>1</sup>、OR<sup>1</sup>、-OCOR<sup>1</sup>またはO-C(O)-OR<sup>1</sup>基であり、R<sup>1</sup>は、C<sub>1</sub>-C<sub>20</sub>炭化水素基であり、LB は、ルイス塩基である）の Mg 系化合物を、少なくとも Ti-Cl 結合を有する Ti 化合物を Ti/Mg モル比が3を超過する量で含む液体媒体と反応させる、0 ~ 150 範囲の温度で実行される1つ以上のステップ (a)；及び上記ステップ (a) から生成される固体生成物を10 ~ 100 範囲の温度で炭化水素を含む液体媒体中に懸濁させる少なくとも1つのステップ (b) を含み、上記方法は、上記ステップ (a) 及び/または (b) 中の少なくとも1つのステップが、Mg 化合物の量に対して0.2 ~ 20.0 重量%の固体化合物の粒子の存在下で実行されること、及び前記固体化合物が50 重量%超過の SiO<sub>2</sub> 単位を含みそして1 ~ 100 μm、好ましくは1 ~ 30 μm 範囲の平均粒径を有することを特徴とする、方法を提供する。